

会員がエコマークを取得

日本リ・ソイル工業協同組合

環境管理士へ挑戦を促す

日本リ・ソイル工業協同組合（荒金憲一理事長）は6月6日、東京都内で第13期通常総会を行った。会員企業のレンテック（北海道苫小牧市）が5月25日付で「ユニ・ソイル」のエコマーク商品認定（認定番号18-13-1001）を取得したことを報告した他、会員企業に対して環境管理士の資格習得を促した。

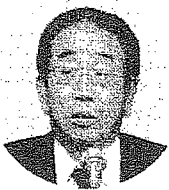
「ユニ・ソイル」としてのエコマーク商品認定は、同じく会員企業

業の環境技術（青森県八戸市）に続いて2番目となった。組合では今年中にエコマーク商品認定を取得するよう会員企業に促している。

来年に向けては、環境管理士の資格習得を勧めている。今後組合で対策マニュアル等を作成し、会員企業での資格習得を支援する。

総会では2017年度の事業報告・財産目録・貸借対照表・損益計算書・剰余金処分案や18年度の事業計画書・収支予算書案などについて報告し、会員企業からの承認を得た。

荒金理事長は「組合設立から13年目に入りますが、会員企業1社1社が着実に前進している。今年も皆様と一緒に前進していきたい」とあいさつした。



荒金憲一理事長

